

グループ理念／パーパス

企業理念 | CORPORATE VISION

**JFEグループは、
常に世界最高の技術をもって
社会に貢献します。**

行動規範 | CORPORATE VALUES

挑戦。柔軟。誠実。

パーパス | PURPOSE

JFEスチール

**ねがう未来に、
鉄で応える。**

JFEエンジニアリング

くらしの礎を
創る・担う・つなぐ
Just For the Earth

JFE商事

**世界をつなぐ。
鉄でつなぐ。**

行動指針 | STANDARDS OF CONDUCT

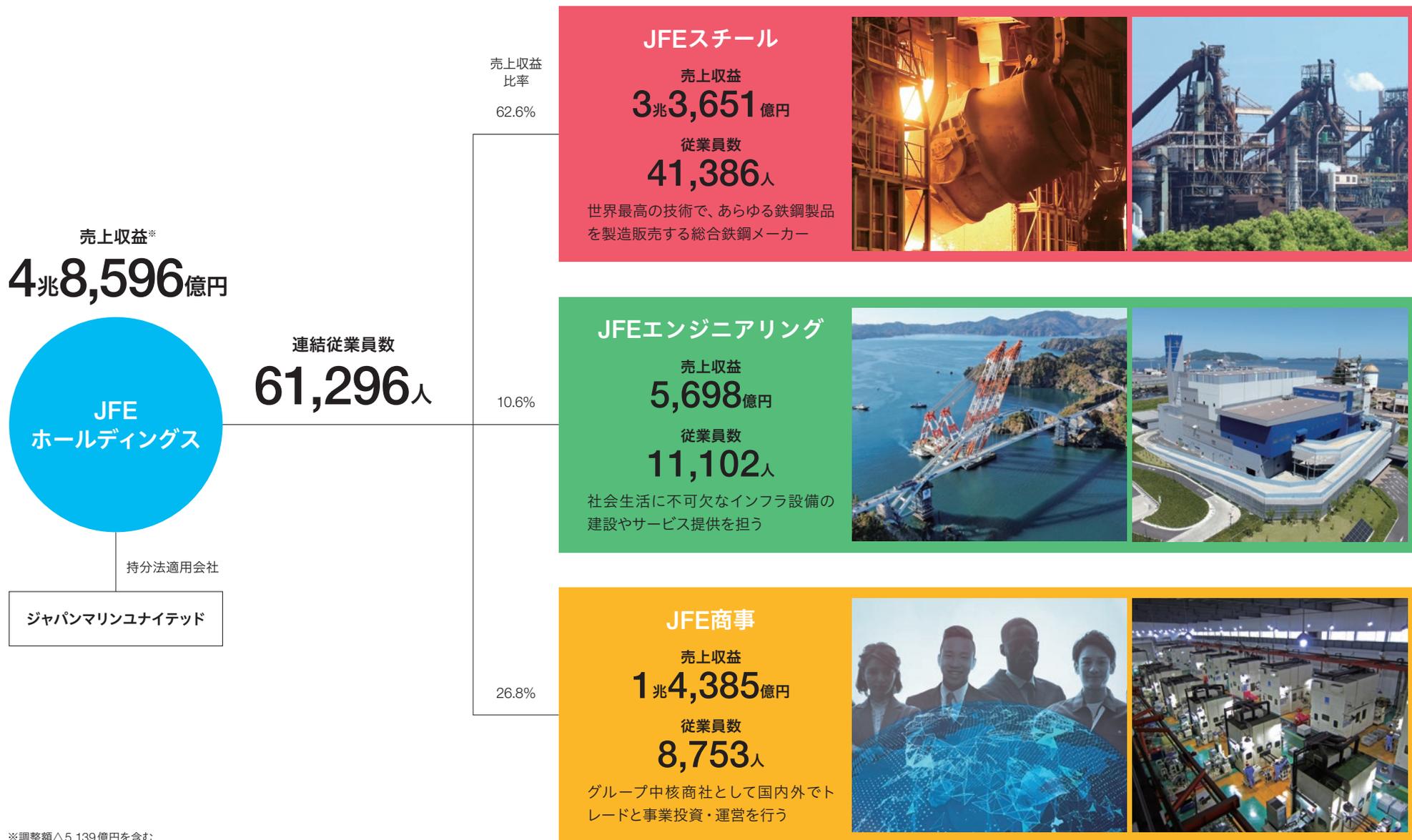
JFEグループの役員および社員は、「企業理念」の実現に向けたあらゆる企業活動の実践において、「行動規範」の精神に則るとともに以下の「行動指針」を遵守する。

経営トップは自ら率先垂範の上、社内への周知徹底と実効ある体制整備を行い、企業倫理の徹底を図るとともに、サプライチェーンにもこれを促す。

本行動指針に反する事態には、経営トップ自らが解決にあたり再発防止に努める。また、社内外への迅速かつ的確な情報公開を行い、権限と責任を明確にした上で厳正な処分を行う。

1. 良質な商品・サービスの提供
2. 社会に開かれた企業
3. 社会との連携と協調
4. グローバル化
5. 地球環境との共存
6. 政治や行政との関係
7. 危機管理の徹底
8. 人権の尊重
9. 働きがいのある職場環境
10. 法令の遵守

JFEグループの現在地 (2025年3月31日現在)



JFEグループの現在地

6つの資本



財務資本

強固な財務基盤構築と柔軟性の確保

- 資本合計 (IFRS 2025年3月末)

2兆5,868億円

- D/Eレシオ (2025年3月期)

54.3%

強化に向けた
取り組み

P18 CFOメッセージ



製造資本

高付加価値製品をグローバルに供給する体制の構築

- 粗鋼生産量 (2024年度)

約2,200万トン

- グループ拠点数 (2025年4月時点)

23カ国・地域 / 117拠点

P22 第8次中期経営計画
(鉄鋼事業、エンジニアリング事業、商社事業)
P91 海外主要拠点



知的資本

競争力の源泉である卓越した技術力

- 研究開発費 (2024年度)

約429億円

- 特許登録件数 (2025年4月)

約30,000件

P68 DX戦略
P70 知財戦略



自然資本

環境負荷削減への取り組み

- 鉄鋼事業におけるGHG排出削減量 (2024年度)

24% (対2013年度比)

- エンジニアリング事業におけるGHG削減貢献量(2024年度)

1,200万t-CO₂/年

強化に向けた
取り組み

P32 第8次中期経営計画
(環境的持続性への取り組み)
P63 GX戦略



人的資本

企業成長の原動力である人材

- 従業員数 (2025年3月末)

61,296人

- 鉄鋼事業のデータサイエンティスト数 (2024年度)

662人

P72 人材戦略



社会・関係資本

強固な顧客基盤と地域との共生

- お客様 (納入先) (2024年度)

約24,000件

- 製造拠点でのイベント参加者 (まつり・フェスタ等) (2024年度)

約17万人

サステナビリティ報告書
<https://www.jfe-holdings.co.jp/sustainability/social/>

長期ビジョン実現に向けたロードマップ

来たるべきカーボンニュートラル時代へ、 グループ一丸となって 攻めの投融資を展開し、企業価値を向上



商社事業

エコプロダクトを中心とした
高付加価値品の開発・拡販



鉄鋼事業

超革新技術開発

革新電気炉
直接還元製鉄法での水素活用
超革新高炉



エンジニアリング事業

サーキュラーエコノミー

インフラ

カーボンニュートラル

リサイクルバリューチェーン構築

廃プラスチックリサイクル

ペットボトル水平リサイクル

食品リサイクル

基幹インフラの強靱化/長寿命化

再エネ発電地域新電力拠点拡充

洋上風力発電用モノパイル基礎製造

2025

電磁・自動車分野加工機能の強化・拡充

海外建材薄板事業の拡大

環境商材の取り扱い拡大

エコプロダクト、エコソリューションの提供

グリーン鋼材の拡大

高付加価値品比率の拡大

海外重点地域におけるインサイダー型事業拡充

洋上風力向け
サプライチェーン構築

革新電気炉稼働に
向けたスクラップ集荷力強化

2027

中東還元鉄
プロジェクト
稼働

革新電気炉
稼働

CCS事業
開始

京浜土地
活用

電力
事業

データ
センター
事業

グローバル
エンジニアリング
体制確立

バリューチェーン
拡大

浮体式洋上風力発電
への展開

水素・アンモニアなど
新エネルギー事業

CCS・CCU

超革新技術開発に
目途をつける

2035

グループ事業利益増大
(セグメント利益7,000億円)

JFEビジョン
2035

カーボンニュートラルに向けた
技術開発のトップランナー

超革新技術
の実装

新エネルギー、
CCUSの活用

GX製品の
市場定着

サーキュラー
エコノミー定着

2050

カーボンニュートラルの実現